

授業改善等に関する報告書（2022年前期）短期大学部

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2022 (前期) 英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
EffectiveA(E①)	エドワーズ, マイケル・アンソニー	With only 10 students of high level, I was pleased that students gave a more than satisfactory effort in giving presentations and listening activities, and discussions. I will continue with the same format in upcoming lessons for this course.
EffectiveA(E③)	エドワーズ, マイケル・アンソニー	I was pleased that students gave a more than satisfactory effort in giving presentations and listening activities, and discussions. I will continue with the same format in upcoming lessons for this course.
ListeningA(E①)	萩野 敏	クラス指定の必修授業ですが、すべての項目で高い評価を得ることができました。CALL教室を使った授業を久しぶりに担当し、やや操作に戸惑うこともありましたが、基本的には順調に進めることができたと思います。後期のListeningBにおいても、学生の期待に応えていきたいと思っています。
ListeningA(E②)	萩野 敏	クラス指定の必修授業ですが、すべての項目で高い評価を得ることができました。CALL教室を使った授業を久しぶりに担当し、やや操作に戸惑うこともありましたが、基本的には順調に進めることができたと思います。後期のListeningBにおいても、学生の期待に応えていきたいと思っています。
ReadingC	エドワーズ, マイケル・アンソニー	Comparing the first few weeks of the course to the final weeks, I'm pleased say that students' concentration on the material presented increased as did their vocabulary level.
Workshop A	大倉 恭輔	この授業に関しては、受講生の毎回の頑張りだけですので、評価もそのようになっています。 最低限のポイントは伝えたいつもりです。 それを踏まえて、これからも「最初を書くことを決める・何度も書き直す」ことを心がけてください。
Workshop B	三田 薫	皆さんがとても熱心にこの授業に参加していることがアンケートから分かりました。今年度は特に「英語を話す・考えるという技能に特化していたので、それらの力が確実に伸びた。」「自分の意見を英語で少しずつ言えるようになった」など、発信力を大いに高めた様子が伝わりました。今後も自己学習を続けて楽しく英語力を高めてください。
Workshop C	三田 薫	皆さんがとても熱心にこの授業に参加していることがアンケートから分かりました。今年度は特に「英語で雑談する力が身についた。」「楽しく英会話をすることができた。また、さまざまな国の文化に触れることができた。」「など、オンラインの講師とのコミュニケーションが充実していた様子が伝わりました。今後も自己学習を続けて楽しく英語力を高めてください。
Writing C	久保田 佳枝	この授業は、英コミを卒業する前に「これだけは理解していて欲しい」という英語構文や語法を集中的に学ぶ内容になっておりましたが、レベル別ではなかったため、学生の皆さんの英語レベルによっては、難しく感じたり、また反対に簡単すぎると思われたり、とあったかだと思います。英語は、地道に勉強を継続することで使えるようになります。ですので、簡単すぎると思われた学生さんも今一度教材の総復習をおすすめいたします。また難しいと感じた学生さんは、教材の単語や語法を覚えることを継続していきましょう。
WritingA(E④)	藤原 正道	回答してくれた皆さん、ありがとうございます。 理解している項目、していない項目が明らかになり、理解できるよう努力すると良い。 後期も頑張りましょう。
WritingA(E⑤)	藤原 正道	回答してくれた皆さん、ありがとうございます。 理解している項目、していない項目が明らかになり、理解できるよう努力すると良い。 後期もさらに頑張りましょう。
キッズイングリッシュ	三田 薫	皆さんがとても意欲的にこの授業に参加していることがアンケートから分かりました。特に「英語の歌やチャンツなど子どもにわかる表現が身についた。」「子供たちに分かりやすく教えることやコミュニケーションができて良かった。」など、アクティビティを通して子供へのアプローチする方法を身につけられたのがとても良かったと思います。
コンシェルジュ論	池田 里香子	本授業の到達目標である「コンシェルジュ」という職業を通して、その職業に求められる心・技・体を習得するという点に於いては、分析結果から学生達が新しい知識や技術を学び、さらなる興味、自己成長を実感してもらえたといえる。今後は、出来るだけ双方向授業を増やし、履修者との接点を増やしていきたい。

[2022 (前期) 英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
ステップアップ英語	エドワーズ, マイケル・アンソニー	Focusing on presentation skills, improvement in all students was observed. From using notes, scripted papers, and cell phones students progressed to giving full presentations using no paper. I'm pleased with the progress the class made as whole.
異文化コミュニケーション論	久保田 佳枝	異文化コミュニケーションは国際コースの必修科目でありながらも授業中の発言が総合成績で一定の割合を占める評価体系となっているため、皆さんの講義の序盤頃は大変な思いをされたことと思います。高校までの受け身の授業から多くの学生さんが成長し、授業中に勇気を持って能動的に発言してくれたことに、科目を担当した私も嬉しいです。世界を相手に渡り歩くためには、単に英語が話せるだけでは不十分です。その事を理解し、これからも留学や海外生活等への準備として、主体的・能動的に行動するように心がけましょう。
英語音声学 A	萩野 敏	履修者数が100名を超えることも多い授業で、今年度は91という履修者数でした。「授業内容に興味があったから」という理由で履修した学生が78%ほどと、66%ほどだった昨年をかなり上回り、強い学習意欲を持った受講者が大多数を占めました。オンデマンド授業の講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者がとても多かったと感じています。総合満足度の平均は4.57と、これまで同様に高めの値でした。高評価を得た部分についても、次年度以降もさらに工夫して取り組んでいければと思います。
英語学 A	藤原 正道	回答してくれた皆さん、ありがとうございます。オンデマンド形式ですので、きちんと閲覧して、内容を理解していくことが重要です。きちんとできた人は、良い評価だったのではないのでしょうか。一方、閲覧や小テストの提出を忘れる人も多かったという印象です。
英米言語文化論 A	萩野 敏	履修者数が100名を超えることも多い授業で、今年度は105という履修者数でした。昨年同様に、「授業内容に興味があったから」という理由で履修した学生が6割程度いました。オンデマンド授業の講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者が少なくなかったと感じています。総合満足度の平均は4.58と、高めの値でした。高評価を得た部分についても、次年度以降もさらに工夫して取り組んでいければと思います。
観光英語	武内 一良	英語は好きだが文法が理解できていない学生を対象に作成した基本的な文法を学ぶ教材に対して、多くの学生から評価された点は非常に嬉しく思います。これからもブラッシュアップしながら、よりよいものへと改善していきたいと思います。
観光概論	武内 一良	高校卒業まで習ったことがない内容であり、しかも自分で選べない必修科目であり、かつ難しい記述問題のみの期末試験が行われたにも関わらず、多くの学生が本試験あるいは追・再試験に合格してくれたことは、例年にはなかったことで大きな喜びを感じています。当たり前のこととはいえ、真剣に授業に取り組んでもらえた成果であると感じています。
卒業演習 A	エドワーズ, マイケル・アンソニー	This class, focused on Japanese American history was surely enlightening for students. Most indicated they had little knowledge of the history, but by the end of the semester they proved know more than the basics of Japanese American history as is evident by their exam answers.
卒業演習 A	久保田 佳枝	多くのみなさんが就職活動中ということも重なり、定期的な出席が難しい方も見られましたが、課題にはきちんと取り組んで頂き、ありがとうございます。提出されたレジュメ、プレゼン、また全体やグループでのディスカッションでは、理論的背景や皆さんの経験等に基づき、大変よくできており、皆さんの成長をみることができました。後期もこの調子で楽しくコミュニケーションに関する理解を深めていきましょう。
卒業演習 A	大倉 恭輔	この授業は、教員がどうこうするという授業ではありません。受講生各自の自主性によって運営されます。なので、毎週、少しずつでも進展を報告してもらえないと厳しい感じです。後期、頑張ってください。
卒業演習 A	藤原 正道	回答してくれた皆さん、ありがとうございます。事前に資料を読んで、疑問点を調査しておくという基礎的な学習はできていたと思います。加えて、独自のコメントに磨きをかけ後期に臨んでください。
卒業演習 A	萩野 敏	今年度は全面的に教室での対面形式となり、前半が双方向オンライン授業だった昨年と比較すると、学生も演習らしさを十分に体験できたと思います。総合評価の4.88をはじめ、全体的にとっても高い評価を得ることができました。毎年のことですが、学生の発表が中心となる演習なので、この形式の授業評価にはやや戸惑いがあるように見受けられました。

[2022 (前期) 英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック		
コース名	教員名	教員からのコメント
卒業演習 A	武内 一良	回答者が2名のみなので本当のところは分からないのですが、自由コメントで1名が「マイペースで取り組めた」とありました。この授業の特色がマイペース型授業ですので、その点はよかったと感じています。
都市文化研究	大倉 恭輔	都市を理解する上で、いろいろな側面があることを知って欲しかったのですが、話題がいろいろ過ぎたかもしれません。とりあえず、「そういう視点から考えることもできるのか」という気づきを得てもらえれば OK としました。なので、採点もけっこう甘めになっています。次年度は、もう少し広がりを抑えようかと思っています。
発音演習 A	藤原 正道	回答してくれた皆さん、ありがとうございます。朝一限から声を出して発音し、歌まで歌うのは大変なことだったと思います。対面で個人個人に指導できたのは、良かったと思います。良くなった発音が継続されるように、日々努力されることを期待します。
比較文化論 A	久保田 佳枝	この授業では各学生の異なる意見を知ることを通して「みんな違ってみんないい」という身近にある文化の違いを知って頂きながら、日本と諸外国の文化の違いをみてきました。レスポンスを通じて皆さんからの活発な発言があり、実のあるディスカッションも数多くできましたね。講義回数が進むにつれて、皆さんが学年や意見の違いに関係なく自分の意見を発言・発表できるように成長してくれたことに、科目を担当した私も大変嬉しく思います。引き続き他の授業も、この調子で取り組んでいきましょう。